

## 第181回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和5年4月25日(火) 午後3時～午後4時50分  
場 所 404会議室  
出席者 6名  
峯岸正雄、高橋勝緒、磯村史織、高橋絹世、友國洋、西沢和美  
傍聴者 なし  
事務局 環境課主幹 阿部、中島

### 1 開会

- 会長あいさつ

### 2 議題

(1)令和4年度の団体における活動報告について

#### 【NPO法人 和光・緑と湧き水の会】

活動拠点は富澤湧水（第2土曜日）、新倉ふれあいの森（第3土曜日）、大坂ふれあいの森（第3水曜日）、和光樹林公園。

令和4年度は、新任教員研修会（和光の湧水環境を紹介）、市内小学校の総合学習（湧水環境学習、ふれあいの森観察会）、お茶の水女子大学地理学巡検、日本地下水学会による「湧水めぐり in 和光」の後援などを実施。

新規事業として「湧き水テレポートカード」を作成。テレポートカードのQRコードを読み込むと、360度カメラで撮った4か所の湧水地映像をYouTubeで見ることができる。

#### 【理化学研究所】

毎年、環境報告書を作成しHPに掲載している。

（和光地区の活動）

- ・4月、和光地区で現地参加とオンラインを併用し一般公開を実施。
- ・和光市民大学にて理化学研究所の研究者が講義を実施。
- ・環境配慮活動への取り組みの一環として、有害大気汚染物質のクロロホルムおよびジクロロメタンについて大気濃度測定を実施。

#### 【白子川と流域の水環境を良くする会】

和光市南の白子川沿いの向山親水公園（わくわくパーク）を活動拠点とし、毎月第4土曜日に川掃除等を実施。その他、年に一度のアユの放流、生物調査等の活動をしている。

#### 【和光自然環境を守る会】

活動拠点は越戸川。

令和4年度は、川清掃と遊歩道の花壇の手入れで計20回活動、延べ147人が参加した。

越戸川まつり、市内小学校の総合学習、「水生生物調査（11回目）」、「全国一斉身近な水辺の水質調査（19年連続参加）」等を実施。

一昨年から東洋大学理工学部青木研究室が日の出橋付近の落差工に簡易魚道を設置しアユの遡上実験を行っており、当会はこれをサポートした。

越戸川が県の河川整備事業である「Next川の再生」の対象となり、改修工事等の「越戸川アップグレード計画」の策定に参画した。

## (2)令和5年度の年間スケジュールについて

### 〈事務局説明〉

通常の活動は例年どおり実施する。それ以外の事について、議論いただきたい。

#### (ア) フィールドワークについて

昨年度は視察等を実施するのではなく、環境関連団体との交流会を開催した。今年度以降、再びフィールドワークを実施するのであれば、当会の裾野を広げるために参加者を募って実施することを提案する。フィールドワークの目的について議論いただき、実施場所や方法についても検討いただきたい。

#### (イ) 環境施策実施状況評価の改善について

評価をしやすくなるよう評価手法を変えていきたい。今年度一年間かけて、評価の仕方について議論いただきたいと考えている。

(会員)お茶の水女子大学地理学巡検は、人数が少なければ共同事業として一緒に実地調査することもできる。

(会員) 母親の立場からすると、入会して存分に活動するのはハードルが高い。そもそも、市内の川や森で活動していることを知らないのだから、まず、活動を知ってもらえるよう軽い気持ちで参加できる様なものが良い。

→ (会員) 母親世代に参加してもらうには、どうすれば良いか。

→ (会員) 幼い子供がいたり、仕事をしている方もいる中で、川や森の清掃や観察会など軽い気持ちで参加してもらい、興味を抱いてもらう事が大事だと思う。

(事務局) 会員の皆さんが活動されているフィールドを活用し、若い方への呼び掛けとして大学に依頼する方法もある。

→ (会員) 事務局は学生を呼び込みたいようだが、学生からママ層など、オールラウンドなテーマは存在しない。ターゲットを絞らないと駄目ではないか。環境基本計画に沿ったテーマにはどのような事業が考えられるか。

→ (事務局) 環境基本計画は、地球温暖化から地域の森や水の事など幅広い。例えば、地球温暖化をテーマにするなら、フィールドワークではなくフォーラムとして講演等を実施する方法もある。

→ (会員) 各団体の活動を知ってもらうために、各団体の定例活動に一般の方が参加できるよう、環境づくり市民会議として周知させて参加してもらうことでも良い。

→ (会員) 環境づくり市民会議として募集してもらいたい。

→（事務局）既存の活動を知っていただくため、環境課として広報することはできる。

（会長）現在、社会福祉協議会のボランティアセンターから依頼を受けて、小中学生を受け入れているが、大人の仲介はしていないのか。

→（事務局）大人のボランティアもあるはずだ。

→（会員）社会福祉協議会はボランティア人材を集めるノウハウがあるはずだ。社会福祉協議会と組んで大人のボランティア体験を実現させたい。

(3)その他

- 次回日程について

日時：5月18日（木）15時から

議題：フィールドワークについて

### 3 閉会